

新潟県山岳協会

## 会報

第4号

1969年10月

## 就任のあいさつ

会長 室賀輝男

吾が新潟県は非常な大県で、色々の条件の山岳に恵まれています。

古くから山岳信仰も盛んで、近代登山がはじまってからは、日本山岳会の創立者、高頭仁兵衛先生を始め、多くの先覚者があつて、その影響をうけ各地に持ち山をもつた職域、同好の山岳会が生れ活動をしており、今では全国屈指の山岳県になっています。

新潟県山岳協会は、県下の山岳会の連合体として、初代会長藤島玄先生の尽力で、昭和二十二年に他県に先がけて創立されたもので、爾来新潟県体育協会唯一の加盟団体として、県民に正しい登山の普及、指導に当り今日の隆盛を見ています。

現在協会加盟団体は、大学、高等専門学校、中学校、小学校、幼稚園を含めて六十二団体あります。まだ未加入、未組織の登山爱好者が沢山あります。これらの協会加入を促進せねばなりません。この社会的責任は当然のこと、その性格と任務をご理解願わねばなりません。

協会は創立以来加盟団体の窓口として、その性質と任務をご理解願わねばなりません。奉仕をもつて目的とし、サービス機関、事務処理機関として今日に至っております。したがって協会に對して事故者を出さないことを第一に考えて、このことに対する教育

は原則として行事をやりません、ただ国体予選、県民スポーツ登山等は行なつております。この機会を通じて、大いにその連携交流を深めて戴きたいものです。

協会としても今後できる限り多くの人達が参加出来る行事日程を組んで行く方針です。現在新潟県山岳協会として最も力を入れて行く運動目標に三本の柱を立てております。即ち、

イ、正しい登山の普及と指導をするための運動  
ロ、遭難防止運動  
ハ、観光開発や心ない登山者から自然を守る運動

の人達が参加出来る事です。協会の結束を固め、活動する会員会で検討しました。根本は金と人であります。当協会は実に人を得ております。協会加盟の金員が力を併せたならば不可能はないといえられます。

かつて人が危んだ残雪の飯豊国体を見事にやってのけた実績と実力が当協会であります。その他県教育委員会と協力して、今春六月に妙高山麓池ノ平に於いて全国遭難防止全国大会、又十月には関東地区登山大会等を立派にやつてのけました。この力をこの先何に向けますかであります。

県民の健全な登山指導普及に、最近各県で設立運動のある登山研修所を是非当県に於いて吾々の手で建設したい。協会が一体となつて、そろそろ海外登山隊を送り出す時期ではないだろうか。

これら事業運動を進めるに欠せぬものはやはり資金であります。本年度会費の値上げも致しましたが、日山協の分担金五万円と通信費、印刷費でその殆んどが消費され、他に廻す余地のないのが現状です。目下役員は手弁当で自費で活動をやつております。

会員各位がこの実情を認識され、力とご意見を切にお願いいたします。

尚加盟団体の分担金が未納の山岳会があるため、事務局で支障をきたしております。早急に納入下さい。

就任のあいさつ  
目 次

新潟、下越地区	高体連登山部の動き	上越、中越地区	第二十四回国体県予選	昭和四十四年度春期
中越地区	県民スポーツの日登山	上越地区	福井国体報告	登山指導員研修会
六	六	五	四	四
六	六	五	四	四
七	七	八	五	五

新潟、下越地区	高体連登山部の動き	上越、中越地区	第二十四回国体県予選	昭和四十四年度春期
中越地区	県民スポーツの日登山	上越地区	福井国体報告	登山指導員研修会
六	六	五	四	四
七	七	八	五	五
八	八	九	六	六

新潟、下越地区	高体連登山部の動き	上越、中越地区	第二十四回国体県予選	昭和四十四年度春期
中越地区	県民スポーツの日登山	上越地区	福井国体報告	登山指導員研修会
六	六	五	四	四
七	七	八	五	五
八	八	九	六	六

新潟、下越地区	高体連登山部の動き	上越、中越地区	第二十四回国体県予選	昭和四十四年度春期
中越地区	県民スポーツの日登山	上越地区	福井国体報告	登山指導員研修会
六	六	五	四	四
七	七	八	五	五
八	八	九	六	六

新潟、下越地区	高体連登山部の動き	上越、中越地区	第二十四回国体県予選	昭和四十四年度春期
中越地区	県民スポーツの日登山	上越地区	福井国体報告	登山指導員研修会
六	六	五	四	四
七	七	八	五	五
八	八	九	六	六

新潟、下越地区	高体連登山部の動き	上越、中越地区	第二十四回国体県予選	昭和四十四年度春期
中越地区	県民スポーツの日登山	上越地区	福井国体報告	登山指導員研修会
六	六	五	四	四
七	七	八	五	五
八	八	九	六	六

新潟、下越地区	高体連登山部の動き	上越、中越地区	第二十四回国体県予選	昭和四十四年度春期
中越地区	県民スポーツの日登山	上越地区	福井国体報告	登山指導員研修会
六	六	五	四	四
七	七	八	五	五
八	八	九	六	六

新潟、下越地区	高体連登山部の動き	上越、中越地区	第二十四回国体県予選	昭和四十四年度春期
中越地区	県民スポーツの日登山	上越地区	福井国体報告	登山指導員研修会
六	六	五	四	四
七	七	八	五	五
八	八	九	六	六

新潟、下越地区	高体連登山部の動き	上越、中越地区	第二十四回国体県予選	昭和四十四年度春期
中越地区	県民スポーツの日登山	上越地区	福井国体報告	登山指導員研修会
六	六	五	四	四
七	七	八	五	五
八	八	九	六	六

新潟、下越地区	高体連登山部の動き	上越、中越地区	第二十四回国体県予選	昭和四十四年度春期
中越地区	県民スポーツの日登山	上越地区	福井国体報告	登山指導員研修会
六	六	五	四	四
七	七	八	五	五
八	八	九	六	六

新潟、下越地区	高体連登山部の動き	上越、中越地区	第二十四回国体県予選	昭和四十四年度春期
中越地区	県民スポーツの日登山	上越地区	福井国体報告	登山指導員研修会
六	六	五	四	四
七	七	八	五	五
八	八	九	六	六

新潟、下越地区	高体連登山部の動き	上越、中越地区	第二十四回国体県予選	昭和四十四年度春期
中越地区	県民スポーツの日登山	上越地区	福井国体報告	登山指導員研修会
六	六	五	四	四
七	七	八	五	五
八	八	九	六	六

新潟、下越地区	高体連登山部の動き	上越、中越地区	第二十四回国体県予選	昭和四十四年度春期
中越地区	県民スポーツの日登山	上越地区	福井国体報告	登山指導員研修会
六	六	五	四	四
七	七	八	五	五
八	八	九	六	六

新潟、下越地区	高体連登山部の動き	上越、中越地区	第二十四回国体県予選	昭和四十四年度春期
中越地区	県民スポーツの日登山	上越地区	福井国体報告	登山指導員研修会
六	六	五	四	四
七	七	八	五	五
八	八	九	六	六

新潟、下越地区	高体連登山部の動き	上越、中越地区	第二十四回国体県予選	昭和四十四年度春期
中越地区	県民スポーツの日登山	上越地区	福井国体報告	登山指導員研修会
六	六	五	四	四
七	七	八	五	五
八	八	九	六	六

新潟、下越地区	高体連登山部の動き	上越、中越地区	第二十四回国体県予選	昭和四十四年度春期
中越地区	県民スポーツの日登山	上越地区	福井国体報告	登山指導員研修会
六	六	五	四	四
七	七	八	五	五
八	八	九	六	六

## 越後兎 藤島玄

信濃河畔で、見える廻りの山々を登る決心をした。山へ登る先輩は一人もいない。同行する仲間も一人もいない。山へ登れば誰一人会わない。それでも山へ登りたい。山を想うと胸が熱くなる。

登山案内書は一冊もない、登山用具店は一軒もない。有つたのは缶詰と五万分の一地形図だけだ。

地図の読み方を教える人もいないし、缶詰は生で食うものと思つてはいた。それでも、山へ登つてみた。山を思うと頭が冷たくなる。

山登りは、歩く旅の延長として怖る怖る出発した。駆から草鞋の紐をしめて歩く。荷は握り飯、雨具は着ゴザ、曲った道、魚のいる川、虫の飛ぶ草むら、足を緩めず見つめたのは馬車か人力車、指導標は皆無、水を貰つて道を訊く。

ひつそりした村には、目的の山の名を知つて居る人も居ない。自分の判断で山道へ入る。山稼ぎの人によく会わぬ限りは、行きも帰りも一人旅の心のあせり。

五万分の一地形図に段彩をほどこす。磁石はあつたが高度計を知らない。時計はあつたが歩数計を知らない。地図上に位置の確認ができる。無知からのもどかしさ。教えられるより、慣れろだ。同じ山を繰り返して登る。桐油合羽の裁断を工夫する。軍隊払下げの

を登る決心をした。山へ登る先輩は一人もいない。同行する仲間も一人もいない。山へ登れば誰一人会わない。それでも山へ登りたい。山を想うと胸が熱くなる。

登山案内書は一冊もない、登山用具店は一軒もない。有つたのは缶詰と五万分の一地形図だけだ。

地図の読み方を教える人もいないし、缶詰は生で食うものと思つてはいた。それでも、山へ登つてみた。山を思うと頭が冷たくなる。

山登りは、歩く旅の延長として怖る怖る出発した。駆から草鞋の紐をしめて歩く。荷は握り飯、雨具は着ゴザ、曲った道、魚のいる川、虫の飛ぶ草むら、足を緩めず見つめたのは馬車か人力車、指導標は皆無、水を貰つて道を訊く。

ひつそりした村には、目的の山の名を知つて居る人も居ない。自分の判断で山道へ入る。山稼ぎの人によく会わぬ限りは、行きも

帰りも一人旅の心のあせり。

五万分の一地形図に段彩をほどこす。磁石はあつたが高度計を知らない。時計はあつたが歩数計を知らない。地図上に位置の確認ができる。無知からのもどかしさ。教えられるより、慣れろだ。同じ山を繰り返して登る。桐油合羽の裁断を工夫する。軍隊払下げの

飯盒、水筒を加工する。銃砲火薬を店からルック、ザックを買った。効きもしない毒虫用の薬を集めた。足袋屋へ應匠、脚絆を注文する。草鞋の作り方、長持ちの履き方を覚える。嫌いの海苔と福音漬と梅干の代りの副食を考えた。鱈の子の石鍋焼きとドロップス、こんな美味しいものがあるものかと感心した。

天気を主にした三カ年日記、五年日記をつける。通観すると、当日の天気の前後の統計が判つた。飽食、断食で働いてみる。下左右どっちが下でも、腰掛けても眠れる。水筒一日一本で余すよにになる。汁や水なしで飯、パン、薬がのどを通る、厚着、薄着、濡物も平気で通す要領が判る。山が樂しくなってきた。

欲の皮のつ張った山旅を想うと、心が戰く。自分を克服しようと意地が出る。仕こんだ仲間が相棒になる。天幕を設計する。手製のピッケルができる。火を燃するに苦心する。加燃料なしで自在に焚けたのは、ずっと後のこと。素足に草鞋で夜道を得意にしたのは、ずっと後のこと。重荷から開放されて、まつたく目をみはらせる思いがします。

若いアルピニストも、もっぱらその方向に目を奪われて、○○ルート△△ルートと目の色を変えます。この式で次から次へと難関が突破されて、まつたく目をみはらせます。

登山形式も近代化から合理化へと移行して第三の登山形式時代もその極に達してきた。つまり良否は別として人工登攀万能時代である、この式で次から次へと難関が突破されて、まつたく目をみはらせます。

時代の風潮と流行が会報、月刊誌とも冬山と海外登山報告そしてその計画とで万載であります。海外へ出ないと山屋の貴賎でもつかないよう、又二千米級の嚴冬期登山をやらねば山屋の仲間入りも

させで貴いよいよ錯覚まで出てきそうです。

便利なものまで利用しない程の贋曲りではないが、交通機関の発達がある、登山用具の改善向上がその方向に目を奪われて、○○ルート△△ルートと目の色を変えます。

おいても、この指導方針につきかなりの討論がなされました。

衆目のみると、名のあるルートの登攀には左程身の危険を感じない。ところが未知の沢へでも突込んだらそれこそ緊張の連続でないか。

後年、長くかかってスキーをマ

ークスのビンディングがでかける。火を燃するに苦心する。加燃料なしで自在に焚けたのは、ずっと後のこと。素足に草鞋で夜道を得意にしたのは、ずっと後のこと。重荷から開放されて、行動範囲を広くする。身体を痛めつけ、我慢させる。精神は暢氣気に樂しく心がけた。

飲まず、食わず、喋はず、眠らず、コンディションを即座にハイレベルへ上げ持続させる。そうでないか。

五万分の一地形図に段彩をほどこす。磁石はあつたが高度計を知らない。時計はあつたが歩数計を知らない。地図上に位置の確認ができる。無知からのもどかしさ。教えられるより、慣れろだ。同じ山を繰り返して登る。桐油合羽の裁断を工夫する。軍隊払下げの

飯盒、水筒を加工する。銃砲火薬を店からルック、ザックを買った。効きもしない毒虫用の薬を集めた。足袋屋へ應匠、脚絆を注文する。草鞋の作り方、長持ちの履き方を覚える。嫌いの海苔と福音漬と梅干の代りの副食を考えた。鱈の子の石鍋焼きとドロップス、こんな美味しいものがあるものかと感心した。

天気を主にした三カ年日記、五年日記をつける。通観すると、当日の天気の前後の統計が判つた。飽食、断食で働いてみる。下左右どっちが下でも、腰掛けても眠れる。水筒一日一本で余すよにになる。汁や水なしで飯、パン、薬がのどを通る、厚着、薄着、濡物も平気で通す要領が判る。山が樂しくなってきた。

欲の皮のつ張った山旅を想うと、心が戰く。自分を克服しようと意地が出る。仕こんだ仲間が相棒になる。天幕を設計する。手製のピッケルができる。火を燃するに苦心する。加燃料なしで自在に焚けたのは、ずっと後のこと。素足に草鞋で夜道を得意にしたのは、ずっと後のこと。重荷から開放されて、まつたく目をみはらせます。

若いアルピニストも、もっぱらその方向に目を奪われて、○○ルート△△ルートと目の色を変えます。この式で次から次へと難関が突破されて、まつたく目をみはらせます。

時代の風潮と流行が会報、月刊誌とも冬山と海外登山報告そしてその計画とで万載であります。海外へ出ないと山屋の貴賎でもつかないよう、又二千米級の嚴冬期登山をやらねば山屋の仲間入りも

させで貴いよいよ錯覚まで出てきそうです。

便利なものまで利用しない程の贋曲りではないが、交通機関の発達がある、登山用具の改善向上がその方向に目を奪われて、○○ルート△△ルートと目の色を変えます。この式で次から次へと難関が突破されて、まつたく目をみはらせます。

時代の風潮と流行が会報、月刊誌とも冬山と海外登山報告そしてその計画とで万載であります。海外へ出ないと山屋の貴賎でもつかないよう、又二千米級の嚴冬期登山をやらねば山屋の仲間入りも

させで貴いよいよ錯覚まで出てきそうです。

便利なものまで利用しない程の贋曲りではないが、交通機関の発達がある、登山用具の改善向上がその方向に目を奪われて、○○ルート△△ルートと目の色を変えます。

時代の風潮と流行が会報、月刊誌とも冬山と海外登山報告そしてその計画とで万載であります。海外へ出ないと山屋の貴賎でもつかないよう、又二千米級の嚴冬期登山をやらねば山屋の仲間入りも

## 自分達の

## 登山を楽しもう

笠原 藤七

近頃、我が国の登山界には、ヒマラヤ、アンデス、アラスカなどと海外登山が盛行する一方にはアルプスの三大北壁登攀の記事や、最近はアイガー北壁直登の成功が大きく伝えられるなど、又、国内に於ける登山にしても、嚴冬期の困難な登山や、むずかしい岩壁の記録的記録など第一級の業績がしきりに宣伝され、まるで海外の山を知らない者は一人前ではない、普通一般の登山など恥かしくて口に出せない、といったような風潮があるように思えてならない。こんなことを考えるのは、私が年をとったための僻目か、或は海外の山を知らない者同志のコンプレックスかと思つていたところ、五十嵐理事長もたまたま同じようなことを考えていたとみえてそのことについて何か書けとの依頼である。「現代登山」についてとでも題したらどうかとのこと。私にはそんなむずかしいことは判らないが、渡りに舟と、近頃の登山についての私なりの愚見を述べることにした。

日本は四面環海の島国とはいえたから、山はビンからキリまで千種方様、實に色々の山がある。そして季節が交ればビンもキリに

なるかも知れない。登る人員も、老若男女、学生、勤め人とこれまでの何千万という数にのぼるであろう。その動機、目的にふれるならば、ヒマラヤ、アルプスを目指してのハードトレーニングから、週末のレジャー登山に至るまで、その種類は誠に種々雑多であろう。だからその組合せとなれば殆んど無限ということになる。それを狭い視野から、登山はすべてかくあるべしと規制したり、どういうのは山ではないなどと決めつけることが誰にできようか。私はそのすべての登山をそれなりに認めた

いる。しかし、難を割くに牛刀を用いる態の登山はないであろうか。例えば、軽装備で楽しく登れる山に、必要以上の重装備で呻吟しても、かかる事はない。しかし、難を割くに牛刀を用いての登山はないであろうか。未踏峰とバリエーションルートを求めて、その足跡は世界の山を総

めに、より厳しいものを探める姿勢は大切だが、この頃はどうも、自分の視野を広め、能力を高めるた

めに、より厳しいものを探める姿勢は大切だが、この頃はどうも、自分の視野を広め、能力を高めるた

めに、より厳しいものを探める姿勢は大切だが、この頃はどうも、自分の視野を広め、能力を高めるた

めに、より厳しいものを探める姿勢は大切だが、この頃はどうも、自分の視野を広め、能力を高めるた

## 海外登山に思う

佐藤一栄

自然を大切にし、他人に迷惑をかけないこと。そして、自分の安全を守ること。即ち本協会がモットウとする公徳登山と安全登山の条件である。私は楓さんから「山を尊び、山を愛し、山と共に生く」という言葉を書いていた。それが、すべての登山に要求される基本的な、そして最高にして最低

の条件である。河口慧海のチベット探険このかた、我が国でも海外登山や学術探

険で立派な業績を上げた人が大勢

いたが、山へ登る程の人はすべてかくありたいものと思う。河口慧海のチベット探険の条件である。私は楓さんから「山を尊び、山を愛し、山と共に生く」という言葉を書いていたが、これが、すべての登山に要求される基準である。山へ登る程の人はすべてかくありたいものと思う。

とにかく、山へ登る程の人はすべてかくありたいものと思う。

それが、すべての登山に要求される基準である。河口慧海のチベット探険の条件である。私は楓さんから「山を尊び、山を愛し、山と共に生く」という言葉を書いていたが、これが、すべての登山に要求される基準である。山へ登る程の人はすべてかくありたいものと思う。

とにかく、山へ登る程の人はすべてかくありたいものと思う。

それが、すべての登山に要求される基準である。河口慧海のチベット探険の条件である。私は楓さんから「山を尊び、山を愛し、山と共に生く」という言葉を書いていたが、これが、すべての登山に要求される基準である。山へ登る程の人はすべてかくありたいものと思う。

とにかく、山へ登る程の人はすべてかくありたいものと思う。

研究会を作つて、有志が熱心に活動を続いているから、近い将来に大目標を掲げた遠征計画が実現するかも知れない。そうなれば協会加盟団体を挙げて、積極的な協力を惜しまないだろうし、地元のマスコミなどの後援も期待できよう。しかし前途は明るい。先ず県内にもかなりは居るに違いない同志を集め、陽動策戦のための確実な基盤を固めることだ。とにかく甘つちよろい旅行気分ではなく、越後山男の代表として、ほんとに協会や県内の登山爱好者にプラスをもたらす、立派な海外登山をやつてほしいものだ。

会の人々である大多数の登山者は、ヒマラヤもアンデスも次元の違う存在だと案外割り切っているかも知れないが、身近な山仲間が自分らの果せぬ夢を代行してくれるのだとしたら、きっと大らかに気持ちよく、双手を上げて、氷河とヒマラヤ襲の国へ送り出してくれることだろう。

## 福井国体報告

加藤利雄

明治百年第二十三回福井国体に参加して最初に感じたことは、福井県民七十五万県連加盟十数団体という小組織が未開発の奥越山群でよくぞこれまで立派にやつたと思う國体でした。

奥越山群は標高千五百米級で山容樹林その他、本県の二王子岳と

非常によく似ており、馴染深く感じられ精神的に楽な登山ができるから前途は明るい。先ず県内にもかなりは居るに違いない同志を集め、陽動策戦のための確実な基盤を固めることだ。とにかく甘つちよろい旅行気分ではなく、越後山男の代表として、ほんとに協会や県内の登山爱好者にプラスをもたらす、立派な海外登山をやつてほしいものだ。

次に山岳競技のあり方について存在だと案外割り切っているかが、本年も又その徹を踏む結果に終つてしまつたようです。私達の所属するA隊の班の中でも、種々論議されました。山岳競技開始以前より既に「インスペクター」的要素が多く含まれ選手の行動全体が暗いものになつたようです。

完璧なタイムスケジュールによつて身動きのきかないものになつて、身動きのきかないものになつています。特に講評の中に、登山、生活、集団技術の三項目について、実際の山行においては登山技術の基礎の大評価であり、果して実際の山行においては、登山技術の基礎の大評価され、多大の成果を修めて終しました。

本大会は協会の年間行事の中でも最も大行事の一つである。従つて、國体予選会は一緒に参加する最も大行事の一つかである。従つて、國体予選会はおろそかにできないが、この機会を利用して広域にある県内の岳人を利用できる。また、登山技術のレヴェル、アップの場にも考へた。予選会の運営の基本的な考え方として、安全、規律、融和の三本柱で行動をお願いした。我々の山登りは第一に安全であること、そして集団登山に於いては規律を重んじ全員が協力して、行動に当るとともに融和をはかる。さらにこのようなムード作りから個々の山登り技術の向上、協会の集団活動の活発化を期待するものであつた。この予選会には大先輩藤島玄氏、奥津五郎氏のグループ、新潟県の最北端関川山の会、最南端のさわがに山岳会等全県下の参加を得て一段と盛況であった。

協会五十嵐理事長、各選考委員会も山岳競技のあり方に付けて、本腰を入れて検討しなければならぬ時機がきたのではないかと考えさせられるような國体でありました。

これ等が國体登山本来の姿だと私は基礎技術がいかに要領よくは思っていませんか、日山協國体委員会も山岳競技のあり方に付けて、本腰を入れて検討しなければならぬ時機がきたのではないかと考えさせられるような國体でありました。

## 第二十四回国体県予選

藤井信

第二十四回国民体育大会は長崎県で行なわれる。山岳部門は國体のため新しく開発した裏雲仙と多く良山系の両会場を結び開催されることになった。県代表選手を決定する予選会は五月三日から五日までの連休を利用して二泊三日間、残雪豊富な越後三山、中ノ岳、駒ヶ岳を会場に行なわれ、しかも全期間好天に恵まれ、多大の成果を修めて終しました。

本大会は協会の年間行事の中でも最も大行事の一つである。従つて、國体予選会は一緒に参加する最も大行事の一つである。従つて、國体予選会はおろそかにできないが、この機会を利用して広域にある県内の岳人を利用できる。また、登山技術のレヴェル、アップの場にも考へた。予選会の運営の基本的な考え方として、安全、規律、融和の三本柱で行動をお願いした。我々の山登りは第一に安全であること、そして集団登山に於いては規律を重んじ全員が協力して、行動に当るとともに融和をはかる。さらにこのようなムード作りから個々の山登り技術の向上、協会の集団活動の活発化を期待するものであつた。この予選会には大先輩藤島玄氏、奥津五郎氏のグループ、新潟県の最北端関川山の会、最南端のさわがに山岳会等全県下の参加を得て一段と盛況であった。

協会五十嵐理事長、各選考委員会も山岳競技のあり方に付けて、本腰を入れて検討しなければならぬ時機がきたのではないかと考えさせられるような國体でありました。

第三日目、調子がでた選手団は快調、大湯温泉に到着、温泉組合の好意により共同浴場を開放三日間の汗を流す、大休憩後閉会式会場の東湯之谷小学校に向う。協会五十嵐理事長、各選考委員会も山岳競技のあり方に付けて、本腰を入れて検討しなければならぬ時機がきたのではないかと考えさせられるような國体でありました。

第三日目、調子がでた選手団は快調、大湯温泉に到着、温泉組合の好意により共同浴場を開放三日間の汗を流す、大休憩後閉会式会場の東湯之谷小学校に向う。

第三日目、調子がでた選手団は快調、大湯温泉に到着、温泉組合の好意により共同浴場を開放三日間の汗を流す、大休憩後閉会式会場の東湯之谷小学校に向う。



## 県民スポーツの日登山

上越地区

直江津山岳会

内藤修

県民スポーツの日、上越地区登

山大会は、東嶺城郡の名山、菱ヶ

岳（一、二九メートル）会場で実施さ

れた。当日は上越の各地から（高

田、糸魚川、妙高、柿崎、柏崎、直

江津）山岳愛好家、約九十名の参

加を得て、近ごろなく盛大な登

山大会であった。

朝、直江津駅前、八時四十分、

二台のバスに分乗し、浦川原経由

で須川着、須川小学校々庭にて地

元公民館長松苗さん他、関係者を

まじえて開会式を行う、直ちに五

班に分かれ出発する、好天に恵

まれて二時間三十分ほどで、山頂

に着く、安塚中学校八木先生より

「菱ヶ岳」の話しきく、昼食を

とりつ四方の山々眺め、おほ

らかな気持ちになる。十三時三十

分、下山開始、下山路は伏野側に

降り大滝より新道を通り山腹をま

いて須川に戻った。小学校々庭で

閉会式をおこない、そのままグラ

ウンドで懇親会をする。各地域別

の、のど自慢をいざやかに終了し

たのち、再び車中のとなり、直

江津駅前十八時着解散した。

コースタイム

直江津発、八時四十分、須川着、

に纏めて逐次改正に改正を重ねて行けば越後獨得の山歩きにかかるものができる。

九時五十五分（開会式）須川発、十時三十分、山頂十二時四十五分（菱ヶ岳照介講話）山頂発十三時三十分須川着十六時五分、（閉会式）須川発十六時四十五分、直江津着十八時着解散、

大会の反省

（1）なるべく知られない（未知）の山を会場とし選定、決定を早める。

（2）パンフレット案内状の早期配布とPR方法

（3）アトラクションなどを盛り沢山にして一般参加者により山の楽しさを知つてもらう。

以上の点を充分検討して行けば来年は本年以上盛大になって行くと思われる。

地元の方々及び新潟日報、安塚支局さんに大変お世話をになり感謝致します。

（4）アトラクションなどを盛り沢山にして一般参加者により山の楽しさを知つてもらう。

以上の点を充分検討して行けば来年は本年以上盛大になって行くと思われる。

地元の方々及び新潟日報、安塚支局さんに大変お世話をなり感謝致します。

（5）アトラクションなどを盛り沢山にして一般参加者により山の楽しさを知つてもらう。

以上の点を充分検討して行けば来年は本年以上盛大になって行くと思われる。

地元の方々及び新潟日報、安塚支局さんに大変お世話をなり感謝致します。

（6）アトラクションなどを盛り沢山にして一般参加者により山の楽しさを知つてもらう。

以上の点を充分検討して行けば来年は本年以上盛大になって行くと思われる。

## 中越地区

燕山岳会

中越地区的登山会は六月一日苗場

## 新潟、下越地区

村上山岳会

早津邦俊

下越、新潟地区的登山会は、当

村上山岳会が担当し、北越の名山

燕、十日町、小出、湯沢と中越一

円の面々である。室賀協会長の挨

拶のあと、一行はバスで祓川へ向

う。コースは湯沢、三俣、祓川、

中ノ芝附近で二、三人の落後者が

ある。天気は上々、だが五合目和

田小屋を過ぎる頃から、ボソボソ

昨日の疲れを訴える者が現われ、

中ノ芝附近で二、三人の落後者が

ある。遂に赤湯廻りを断念、往路

を引き返すこととする。神楽峯付

近から残雪の上を行く様になる。

眺めは上々一気に三四五メートルに立つ、山頂は一面の雪原で僅

を食べながらゆっくり回りの景色

を眺める、平標から続く谷川連

峰、遠くの日光の峯々、白砂山か

ら砂武流、岩菅、鳥甲、遠く妙

山、戸隠から北アルプス迄見え

る、アヅマシヤクナゲ、ミツバ

珍客が顔を並べる。食堂が開放され、ニギ／＼しく前夜祭が開催される。持参のウイスキー、酒

珍味が続々テーブルに並び、地元が頂上から元気にかけ降りて来る。皆んな元気で頂上を踏めてよかったです。

春の夜明けは早く、光々とした

朝日が部屋一杯に入り目が覚める。昨夜のアルコールを発散すべく早速温泉に入る。六月一日午前

六時モーテル前の広場に当日参加者を含め約七〇人、長岡、三条、

春の夜明けは早く、光々とした

朝日が部屋一杯に入り目が覚める。昨夜のアルコールを発散すべく早速温泉に入る。

つく。途中で落伍したはずの二人が頂上から元気にかけ降りて来る。皆んな元気で頂上を踏めてよかったです。

次の山行を語りながら、出発前に会長の挨拶通り「和氣あい

かつた。

すっかり仲良くなつた一行は

「」の一日だった。

又次の山行を語りながら、出発前に会長の挨拶通り「和氣あい

かつた。

北面は人造湖三面ダムから急峻に立つことができず、三時間半を必要とする中級の登りごたえのある鷲が巣山である。

(7) 1969年11月

## 高体連登山部の動き

筑木 力

今年の四月以降についてのべる。

まず四月二十六日から三日間、技術講習会を二王子岳で開催し、新潟市内の高校が運営に当った。参加者二百三十名、講師に鵬翔山岳会の高島誠、石黒久の両氏を招く。

講師の熱心で厳しい指導にシゴカレ、成果は大いにあがつた。

五月三、四、五日、国体県予選が中ノ岳と駒ヶ岳で行なわれ、高校の部は十三ペーティが参加、連日快晴で豊富な残雪と見事な眺望に春山の醍醐味を満喫した。結果は監督に金子達(三条工高校教諭)選手に長谷川一良(三条工高)、塙田昭(高田高)の両君が推薦された。

五月九、十日、春季全県登山会が五頭連峰で新発田地区高校担当の下に举行され盛大であった。これは昨年までの地区登山会を、県一本にまとめて今年から実施することにしたものである。

清水へおりる計画で举行された。運営担当は三条地区高校、参加者は二百七十名。初日は好天だったが夜になって風雨が強くなり、翌日も悪天候のため縦走を止め清水を

時に停滞してそのまま下山した。一時は風速三十米を越え、テントを飛ばされたペーイもあった。

結果は県代表に三条高、新潟工高、三条東高が選ばれた。

六月十三、十四日、県教委主催の登山指導者講習会が、今年は池ノ平スポーツハウスを根拠地にして妙高山で開催された。講師は長崎達男氏と筆者が担当、中学、高校の先生など三十名が受講した。

夏休みに入ると、各校の山岳部は年間最大の行事である夏山合宿を実施、北ア、朝日、飯豊などに豪雨で大巾に予定を変更しなければならなかつたようだ。

八月十一日から十六日まで第十一回全国高校登山大会が、尾瀬の至仏山、燧岳で举行された。八月上旬の大雨で木道の八割が流失し、尾瀬ヶ原の核心部は通過不能となつたため、大巾にコースを変更された。それでも入山中は好天に恵まれ一般ハイカーも少なく静かな尾瀬を楽しんだ。新潟県工はAコースの優秀校として表彰された。

五月二十六、七月、秋季全県登力、筑木力、五十嵐篤雄、加藤勝義、藤井信、土田幸雄、倉島正吉、山崎和幸、石田国夫の十名が参加し、総勢七十余名になつた。

三十日十三時より開会式、杉本光作講師による特別講演を皮切りに、日程が進められ、十四時三十分から十七時までと翌日八時から十二時まで、三分科会に別れ研究協議に入る。

第一分科会、遭難対策における相互通扶助体制について。

二、各県岳連(協会)同志の相互扶助について。

現させパンジャブ、ヒマラヤに遠征、七月下旬出発し九月下旬帰國した。

日本山岳協会主催の標題協議会は神奈川県逗子市と茨城県那珂湊市の二箇所で行うことになり、新潟県は東京、群馬、栃木、茨城、千葉、新潟の一都五県のプロソクで那珂湊市磯崎にある国民宿舎、白亜紀荘を会場に、地元茨城県山岳連盟の共催で八月三十日と三十一日の二日間積極的な協議会が開催された。

日本山岳協会主催の標題協議会は神奈川県逗子市と茨城県那珂湊市の二箇所で行うことになり、新潟県は東京、群馬、栃木、茨城、千葉、新潟の一都五県のプロソクで那珂湊市磯崎にある国民宿舎、白亜紀荘を会場に、地元茨城県山岳連盟の共催で八月三十日と三十一日の二日間積極的な協議会が開催された。

日本山岳協会主催の標題協議会は神奈川県逗子市と茨城県那珂湊市の二箇所で行うことになり、新潟県は東京、群馬、栃木、茨城、千葉、新潟の一都五県のプロソクで那珂湊市磯崎にある国民宿舎、白亜紀荘を会場に、地元茨城県山岳連盟の共催で八月三十日と三十一日の二日間積極的な協議会が開催された。

日本山岳協会主催の標題協議会は神奈川県逗子市と茨城県那珂湊市の二箇所で行うことになり、新潟県は東京、群馬、栃木、茨城、千葉、新潟の一都五県のプロソクで那珂湊市磯崎にある国民宿舎、白亜紀荘を会場に、地元茨城県山岳連盟の共催で八月三十日と三十一日の二日間積極的な協議会が開

## 遭難対策特別事業関係

糸魚川山岳会

石田国夫

二、各県岳連(協会)を中心とした問題について。

各県岳連(協会)で合同の遭対救助訓練を行ない同時に仲間意識をたかめる。登山指導員のパートナール制度をもうけ、協同実施による友情の高揚を計る。

(参加者 五十嵐・倉島、山崎)

各分科会が終了して約一時間にわたり全体協議が行なわれた。二日間の日程を全部終了して十二時三十分昼食後解散となつた。

(参加者 井口、筑木、石田、土田)

第三分科会、救助技術について。

一、技術(人力救助、用具利用技術、特殊用具)

二、救助技術実施上の諸注意

三、救助技術の指導方法について。

四、救助責任者の指揮統括について。

五、救助用具について

これ等の殆んどは座学ではなく、用具等を使用し実技訓練として行なう分野で、これから的研究会のあり方に一考を促したい。

(参加者、望月、加藤、藤井)

## 弥彦山松明登山祭

弥彦山岳会

花井

馨

第三分科会、未組織者の遭難対策について。

たとえ未組織の登山者であつても遭難したら放つておぐわけにはゆかない。なんらかの方法で救助しなければならない。登

登山者を送りだす県と受け入れる県があり、その体制については理論的に納得できるが非常にむずかしい問題である。せめても同時に同じ山を登っている場合、他のグループで救援する。又は救援を求めることが常識になるような指導を行なつてゆこまではいか。

組織化の問題は何年も前から日山協でとりあげ論議されているが解決されていないので、あらためて日山協 又は各県岳連(協会)が「魅力」のある組織を作らなければならぬ。そのためには組織者一人一人のたゆまない努力が必要になつてくれることで解決される。組織化等を計ることが大切になるのではないか。

組織化の問題は何年も前から日山協でとりあげ論議されているが解決されていないので、あらためて日山協 又は各県岳連(協会)が「魅力」のある組織を作らなければならぬ。そのためには組織者一人一人のたゆまない努力が必要になつてくれることで解決される。組織化等を計ることが大切になるのではないか。

山者の受入側として組織に入っている登山者が入っていない登山者が見分けがつくものでもない。それ以前に事故防止、組織化等を計ることが大切になるのではないか。

最後に三条東高校教諭の吉副道夫本間博両氏と山谷アイン氏(土樽山の家勤務)は、長年の計画を実

現させパンジャブ、ヒマラヤに遠征、七月下旬出発し九月下旬帰國した。

日本山岳協会主催の標題協議会は神奈川県逗子市と茨城県那珂湊市の二箇所で行うことになり、新潟県は東京、群馬、栃木、茨城、千葉、新潟の一都五県のプロソクで那珂湊市磯崎にある国民宿舎、白亜紀荘を会場に、地元茨城県山岳連盟の共催で八月三十日と三十一日の二日間積極的な協議会が開催された。

日本山岳協会主催の標題協議会は神奈川県逗子市と茨城県那珂湊市の二箇所で行うことになり、新潟県は東京、群馬、栃木、茨城、千葉、新潟の一都五県のプロソクで那珂湊市磯崎にある国民宿舎、白亜紀荘を会場に、地元茨城県山岳連盟の共催で八月三十日と三十一日の二日間積極的な協議会が開

日本山岳協会主催の標題協議会は神奈川県逗子市と茨城県那珂湊市の二箇所で行うことになり、新潟県は東京、群馬、栃木、茨城、千葉、新潟の一都五県のプロソクで那珂湊市磯崎にある国民宿舎、白亜紀荘を会場に、地元茨城県山岳連盟の共催で八月三十日と三十一日の二日間積極的な協議会が開

日本山岳協会主催の標題協議会は神奈川県逗子市と茨城県那珂湊市の二箇所で行うことになり、新潟県は東京、群馬、栃木、茨城、千葉、新潟の一都五県のプロソクで那珂湊市磯崎にある国民宿舎、白亜紀荘を会場に、地元茨城県山岳連盟の共催で八月三十日と三十一日の二日間積極的な協議会が開

越後一宮弥彦神社の灯籠神事の振興をはかり県民の士氣昂揚に資したいとの配慮で、各種協賛行事を実施することとなり、神社当局より、山岳会で弥彦山登山競走を中心とする催して貰えないかとの相談を受けた。その時私の頭に浮んだのが明治二十年頃まで行なわれたと言う夜中農民が松明を輝して下山したことである。越後山岳第四号参照のことであつた。早速日本山岳会に連絡して、下山した雨乞行事(越後山岳第四号参照)のことがあつた。越後支部長藤島玄さんや三条秀峰山岳会の望月力さんに相談し、その協力を得て実施にふみ切った。

第一回の参加者は百十名、全部各山岳会所属の岳友たちで、当時はロープウェーではなく、滝ノ沢、春子沢の沢登りや、十石を訪れて参加するものが大部分であった。

静寂な夜の山頂に炬火百本はじめ一斉に点火されたときの感激は今に生きしいものがある。

太古の夜の山顛にいま一大宗教行事が始まるのだと思幻の境地にいる思いがした。

山頂の講演には、玄さん、箕浦さん、望月さん、私が当り、先導は、弥彦山岳会の堀内君、田辺君、拝殿前の方才男は石浜文郷博士であつたなど皆なつかしい。

爾來今年で十六回、県下各山岳会の協力により中央より著名先輩岳人を加え、県下岳人の一大交歎会に発展、名称も、新潟県登山祭を併用して今日に至つたのである。

今年も、吉田、巻、岩室の近隣

山岳会の献身的協力を得て、三百の岳人の堂々の下山、市内行進は越後一宮の燈籠神事の圧巻であつた。来年は土曜に当ることでもあり、更に上越地方の岳友の参加も得て盛大に実施したいと希望している。尚弥彦山スカイラインも開通するし、松明も今年より室賀さんの助言で改善したし、地元でも実施方法を考えているが、各位より新趣向をお寄せ下さることを願つていて。最後に第三回頃から創った拙いものであるが讀歌松明を持ちながら雪山贊歌の節で唄つて下されば幸甚である。

弥彦山松明登山讀歌

五月三日～五日越後三山、中ノ岳遭難防止のために未組織、未加盟の登山団体がありましたら加盟するよう勧誘し、正しい登山の普及に努力して下さい。

五月一日二日上越、中越、下越山に開催す、参加者二百五十名

関東地区大会併催新山協親睦登山会

中央講師山崎安治氏を迎え弥彦

六月一日二日上越、中越、下越の各地区に行なつた。

岳ガ岳にて開催

岳民スポーツの日登山

五月一日二日上越、中越、下越の各地区に行なつた。

岳民スポーツの日登山

五月一日二日上越、中越、下越の各地区に行なつた。

岳民スポーツの日登山

五月一日二日上越、中越、下越の各地区に行なつた。

岳民スポーツの日登山

### 新山協だより

井口正男

昭和四十四年度評議員会

三月十六日、長岡市文化会館にて開催。出席者五十四名

四十三年度事業報告、会計報告

四十四年度事業計画発表、予算案記す)

五月三十日、立川重衛(亀田)、藤井洋(大学)、中央講師山崎安治氏を迎えて開催す、参加者二百五十名

岳民スポーツの日登山

五月一日二日上越、中越、下越の各地区に行なつた。

岳民スポーツの日登山

五月一日二日上越、中越、下越の各地区に行なつた。

岳民スポーツの日登山

五月一日二日上越、中越、下越の各地区に行なつた。

岳民スポーツの日登山

五月一日二日上越、中越、下越の各地区に行なつた。

岳民スポーツの日登山

五月一日二日上越、中越、下越の各地区に行なつた。

岳民スポーツの日登山

五月一日二日上越、中越、下越の各地区に行なつた。

岳民スポーツの日登山

五月三十日、立川重衛(亀田)、藤井洋(大学)、中央講師山崎安治氏を迎えて開催す、参加者二百五十名

岳民スポーツの日登山

五月一日二日上越、中越、下越の各地区に行なつた。

五月三十日、立川重衛(亀田)、藤井洋(大学)、中央講師山崎安治氏を迎えて開催す、参加者二百五十名

岳民スポーツの日登山

五月一日二日上越、中越、下越の各地区に行なつた。

岳民スポーツの日登山

五月一日二日上越、中越、下越の各地区に行なつた。

岳民スポーツの日登山

五月一日二日上越、中越、下越の各地区に行なつた。

岳民スポーツの日登山

五月一日二日上越、中越、下越の各地区に行なつた。

岳民スポーツの日登山

五月一日二日上越、中越、下越の各地区に行なつた。

岳民スポーツの日登山

五月一日二日上越、中越、下越の各地区に行なつた。

岳民スポーツの日登山